

本時のねらい(2/7)

乗数や被乗数が0の場合の乗法の意味を理解するとともに、その積が常に0であることがわかる。

本時の展開

	ねらい	学 習 活 動	基礎基本・指導援助																				
つかむ 考えを持つ	<ul style="list-style-type: none"> 6点や4点のところの得点を求める式と得点を表にかくことができる。 2点と0点の欄にある数や式について考えることができる。 	<p>1. 問題の意味がわかる</p> <p>2. とく点を求める式を考え、今までと違うところを見つけ課題をつかむ。 (例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>点数(点)</th> <th>はいつた数(こ)</th> <th>とく点をもとめる式</th> <th>とく点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">合計 _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> 6点のところは2こだから $6 \times 2 = 12$ 4点のところは5こだから $4 \times 5 = 20$ かけ算に0が入っている。 2点のところには、1個も入らなかったから 2×0 となる 0点のところは3個入ったから 0×3 となる <p style="text-align: center;">課題</p> <p style="text-align: center;">0の入ったかけ算の答えが、いくつになるか、わけもいえるようにしましょう</p> <p>3. 自分の考えを作る。 2×0 ア: 2点のところは0こだから 得点は0点 イ: $2 \times 1=2$、2×0 はかける数が1へると答えは2へるから 0 0×3 ウ: 0点の中に3つ入ったから 0点 エ: 0の3つ分だから 0 オ: $0+0+0=0$</p> <p>4. 意見を交流する。</p> <p>5. 他の場合について考える。(一般化を図る) 式と答え、そのわけを考える。 <ul style="list-style-type: none"> 4点のところは0こ $4 \times 0=0$ 0点のところは9こ $0 \times 9=0$ 0を9回たしても0だから 0×0の意味と答えについて考える。 0点のところは、1つも入らなかったことで0点 </p> <p>6. まとめる</p> <p style="text-align: center;">どんな数に0をかけても、0にどんな数をかけても答えは0になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点取りゲームでの自分の得点を求める。 	点数(点)	はいつた数(こ)	とく点をもとめる式	とく点	6	2			4	5			2	0			0	3			<p>課題意識</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生の既習内容を想起させ、ある点数(n点)のところは何個が入った場面をもとに、「点数×入った数=得点」の関係をどの子にもつかむことができるようにする。 具体的な得点を求める場面を取り上げることで、0の乗法の意味や答えの見通しを持つことができるようにする。 <p>【基礎・基本】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗数や被乗数が0の乗法の式表示ができる。 <p><評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> 乗数や被乗数が1～9までのときと同じように、0のときも立式することができたか。(挙手・発言) <p>自由交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えが持たない児童から自由交流をし、筋道立てて話したり、仲間の考えを取り入れたりする。 <p>全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童にとって、2×0が0となるわけは、説明しにくく、理解が困難であると考えられる。また、事前調査よりイの考え方は出にくいと考えるので教師が既習内容とつなげて考えられるように示唆する。交流では、1人ずつの考えを説明する時間を省き、焦点を絞って話し合う。どの児童にも簡単でわかりやすく明らかであるエ、オを中心に取り上げる。 <p>【基礎・基本】</p> <ul style="list-style-type: none"> かける数が0のとき、かけ算のきまりからかける数が1へると答えは、かけられ数だけへるから答えは0になる。 かけられる数が0のとき、0を何回たしても0だから答えは0になる。 <p><評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> 乗数や被乗数が0のときの答えが0になるわけを話すことができたか。(挙手・発言)
点数(点)	はいつた数(こ)	とく点をもとめる式	とく点																				
6	2																						
4	5																						
2	0																						
0	3																						
見つける																							
確かにする																							